平成25年7月29日
国土交通省　青森河川国道事務所
青森県　県土整備部　河川砂防課

岩木山の火山噴火被害の軽減に向けて

「岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します。

岩木山は、津軽平野の西側にそびえる標高 1,625m の火山で、西暦 1863 年の噴火を最後に約 150 年間噴火しておりませんが、江戸時代には活発な火山活動をしていた活火山です。活火山である以上、いつ再び活動が活発化して噴火しても不思議ではありません。岩木山もひとたび噴火すると広い範囲に影響を与え、また土砂災害が長期的に頻発するなど、地域全体への甚大な被害発生が懸念されます。

一方、近年の国内噴火災害の経験から、岩木山を含む全国 29 の活火山地域を対象に「いつどこで起こるか予測が難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、ハード対策とソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）すること」を目的とした「火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン」（平成１９年４月）が国土交通省から示されました。青森県は、岩木山の噴火現象に対応するため、本ガイドラインに基づき「岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定することとしました。

岩木山火山噴火緊急減災対策計画の策定にあたっては、岩木山の火山噴火に備えた緊急的なハード・ソフト対策の検討を行うとともに、平常時から準備すべき事項や、噴火発生時の役割分担・協力体制などを検討していく必要があることから、岩木山に関わる学識経験者や防災関係機関からなる「岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を設け、岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定します。

記

１．日　時　：　平成25年7月31日（水）13：30～15：30
２．場　所　：　弘前大学創立 50 周年記念会館　岩木ホール
３．内容
　１）　火山噴火緊急減災砂防計画の概要
　２）　岩木山の現況と噴火シナリオ

※委員会公開は、本委員会での了解後とさせて頂きます。

発表記者会　：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【問い合わせ先】

青森県　県土整備部　河川砂防課
砂防グループマネージャー　後藤　正（内線 4302）
青森市長島一丁目１－１　TEL017-722-1111(代表)、FAX 017-734-8191

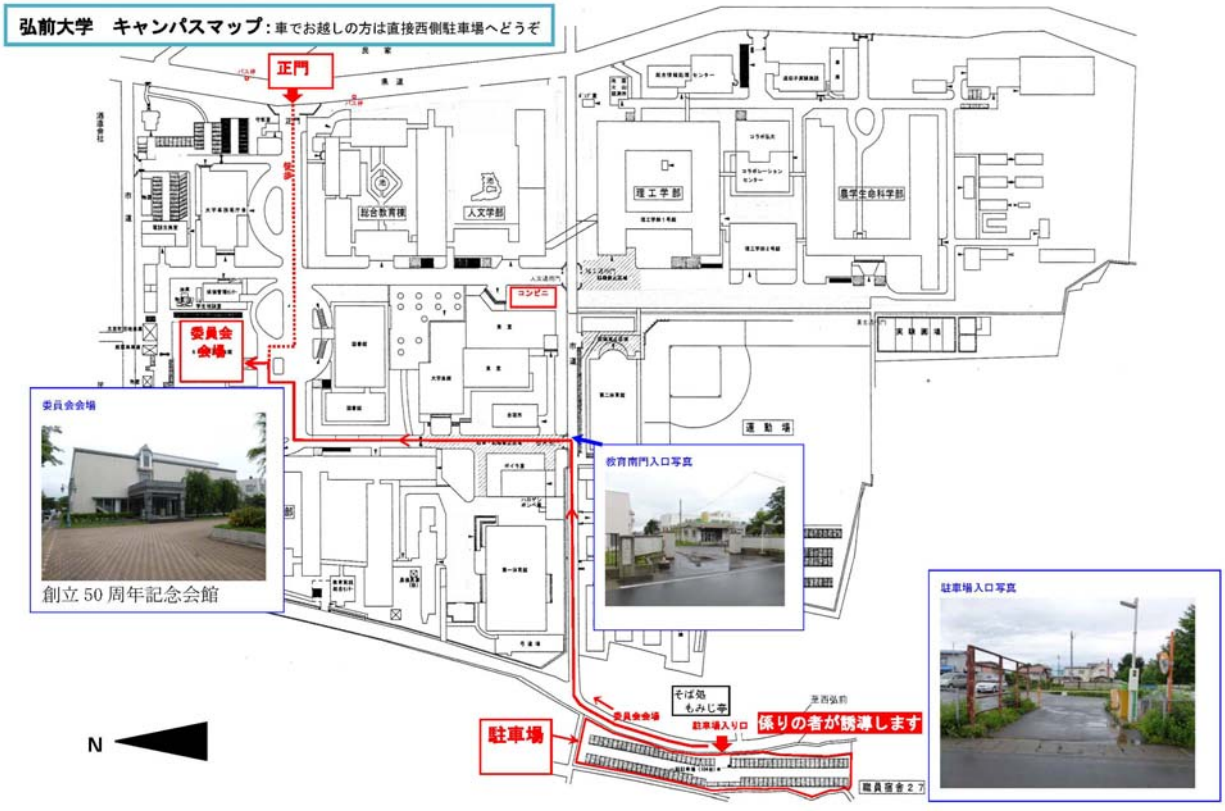
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
調査第一課長　樋川　満　（内線 351）
青森市中央三丁目20－38　TEL017-734-4521（代表）、FAX017-722-2540

岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画委員会　開催会場

1. 日　時　：　平成25年7月31日(水)13:30～15:30
2. 場　所　：　弘前大学創立50周年記念会館　岩木ホール
　　〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

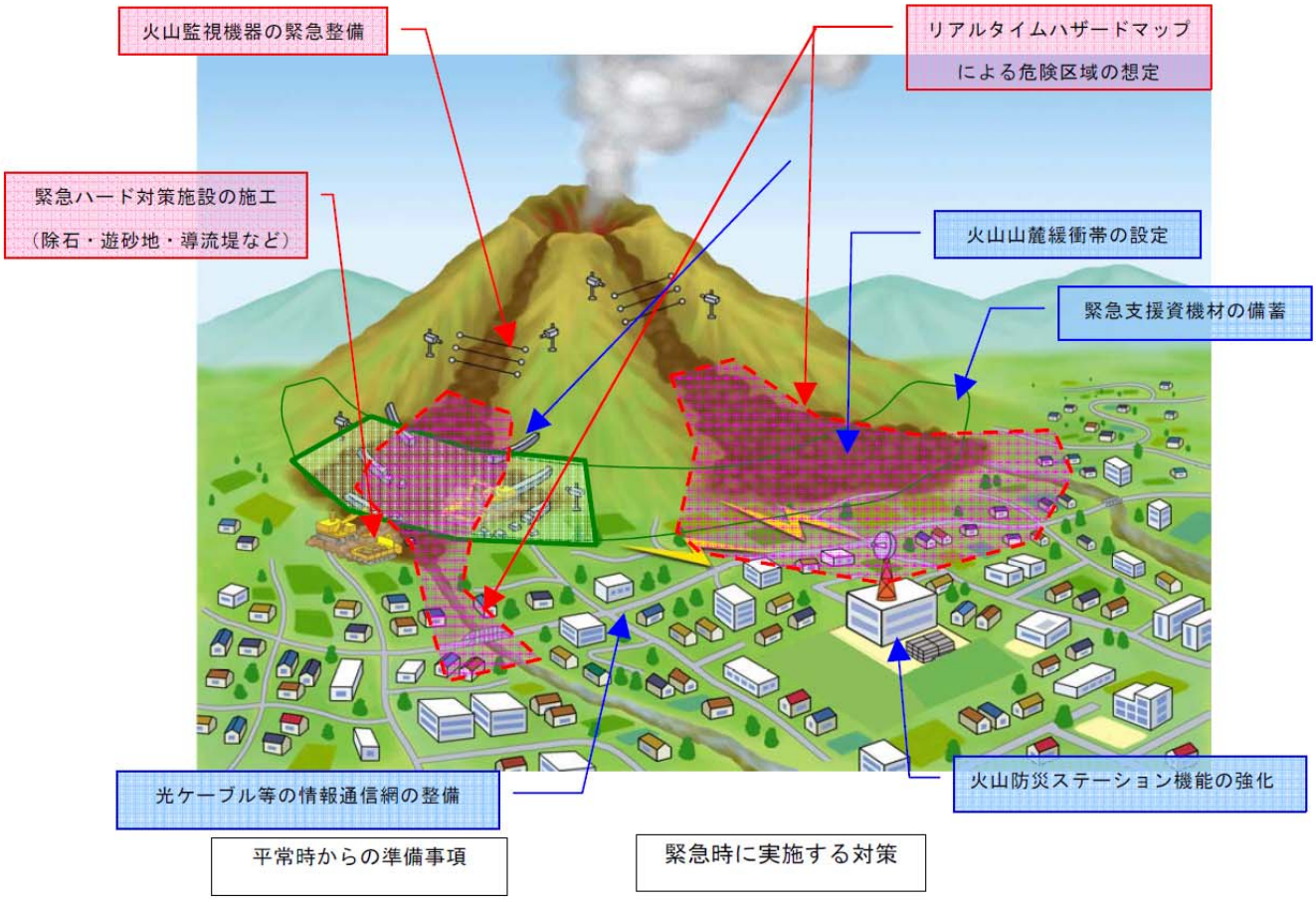
(案内図)





火山噴火緊急減災対策砂防計画概要

[計画の内容]



平常時からの準備事項

緊急時に実施する対策

緊急支援資機材の備蓄

火山防災ステーション機能の強化

火山山麓緩衝帯の設定

地形データ、保全対象分布、施設整備状況などの火山データベースの整備

光ケーブル等の情報通信網の整備

緊急調査
（前兆時から噴火終了まで）

緊急ハード対策

緊急ハード対策施設の施工

除石・遊砂地・導流堤など

火山専門家との連携

関係機関との調整

緊急ソフト対策

火山監視機器の緊急整備

リアルタイムハザードマップ
による危険区域の想定

… 主要な実施項目

… その他関連する実施項目